

令和 5年 11月 28日

真庭市議会議長 小田 康文 様

令和 5年度 真庭市議会市民と語る会実施報告書

報告者(班長) 伊賀基之

開催日	令和 5年 11月 11日 (土) 18:00 ~ 21:25		
開催学区名	落合小学校		
会場名	落合総合センター		
出席議員	班長 : 伊賀基之 副班長 : 中尾哲雄 班員 : 妹島弘和 森脇正和 小田康文		
参加人数	15人 (うち議員6人)		
発言の種類	発言の内容	対応の内容	備考
要望	落合大橋西詰から名和香美堂前までの新設道路(東西軸)が欲しい 中国銀行前の道が北に真っ直ぐ延びてR313に繋げて欲しい 名和香美堂前の交差点は通常の通行形態にして欲しい	住民会の総会で意見を述べて貰い、住民会の総意として道路新設要望を出して欲しい 市では市道新設改良要望を客観的に評価して優先順位を付けて事業をしている	
要望	福田から富尾の堤防(りんくるライン)の整備をして欲しい 落合から福田まではきちんとコンクリートを用いて整備しているのに、福田から富尾までは一切していない	良くない部分があるのは承知しているから執行部に追及していく。トイレや休憩所などを設けることも良いのではないか。何らかの形で報告する	建設課に連絡
意見	給食費が高額である	元々保護者には給食費の内食材費だけを負担して頂いている。今年度、真庭市教育委員会では高騰した食材費の内、高騰した差額分を支出しており保護者に新たに負担を求めることはしていない。	
意見	落合こども園の園庭の土砂が流出している。溝が直ぐ出来て環境整備とかで保護者が補修をしている。どうにかならないか。また子どもが走り回るので危険である。その問題は落合地域全ての小中学校で発生している。お金を掛けようとしていない。	このことが原因で子どもや保護者に危険が発生するようであれば直ぐに対応するように市教委に伝える	文教厚生委員会で報告 教育委員会 落合中・・・溝の土あげを実施 落合小・・・対策を検討中 落合こども園 大型樹を3基設置 さらに対策を検討中
意見	議会の多様性がない。高齢男性ばかりである。どうにかならないか。	海外にはクォーター制があり、男女ペアで無いと立候補できない国もあるが、公職選挙法の改正が必要である 真庭市議会には子どもを預けられる	

		託児所や授乳するスペースはないが、いずれこれらを整備することは必要であると思うが、これらを整備すれば若い、子育て世代の女性が立候補してくれるかどうかは別の問題である。	
意見	部活の民間移行について議会の方針はどのようなものか。	少子化が進みやりたい種目の受け皿が無くなってきている。 部活を合同で実施するとか、クラブへ依頼するとかしかないと思う。	
意見	議員は地域住民に寄り添い、色々な情報を教えて欲しい	まずは各地域にいる議員に接触して貰い、意見交換をして欲しい。 市の行う各種施策が分かりにくく、十分に届いていないことが分かった。何が出来るのか検討する。	
意見	市民と語る会を2年に1度各地を回るのではなく、定例会の前に毎年実施して欲しい。	ご意見として承る。	議運に報告
意見	残土処分場の使用率はどうか？	調査を行い、何らかの形で報告する。	市の設置している処分場は5カ所あるがいずれも100%に達している。現在は市内に2カ所ある民間の処分場に搬入している。(蒜山昭和化学、竹藤建設処分場)
意見	耐用期限が来た公共施設の予算などの対応は？	公共施設総合管理計画を策定し検討している。今年度施設カルテを作成し数年掛けて存廃を含め対応を決めていく。	
意見	人口減少について議会の考えはどうか。	昨年度の出生数は202人である。本年度は10月末で約30人少ないと聞いている。 人口減少を食い止める手段は執行部も議会も持ち合わせていない。	
意見	若者の流出について議会の考えはどうか。	食い止める方法は持ち合わせていない。現状、市内の中学校を卒業した生徒の約半分が市外の高校に進学している。なぜそうなのかという調査研究をし、対策を打つべきであると考えている。	
意見	長年に亘る方針などは老朽化していないか？	全てが更新できているとは言わないが、重要なもの例えば総合計画は5年毎、まちひとしごととは毎年見直しを行い更新している。	
意見	市の自主財源を増やす方法は何か無いか？国に頼っていると自由が無いのでは無いか？	地域産業の振興など自主財源を増やす努力はしている。国からお金を持つてくることも頑張っている。	

意見	高齢者の足の確保について	<p>チョイソコが10月1日から試行しており、AI オンデマンドで予約の簡略化と停留所を市内で300カ所以上設置している。議会の総意では無いが、いずれ市内全域に拡充したいと考えている。たとえ赤字が解消されなくても共生社会の実現に無くてはならないものだと考えている。</p>	
意見	防災力の更なる強化について	<p>市民の生命と財産を守るのが市の最大の仕事である。市も議会も心得ている。議会も監視し提言するようにやっていく。</p>	
意見	<p>明石市や杉並区で出来ているような子育て政策は真庭市ではできないか？</p>	<p>議会も市も子育て支援をしていかなければならないと言うのは、共通している方針である。</p> <p>今年7月に真庭市は子どもまん中宣言をした。子どもへの支援をこれまで以上に進める宣言である。</p> <p>市役所内に子ども育み推進会議を設置した。特に保育園や学童保育に注力しており、待機園児や学童保育の待機児童を無くす努力をしている。真庭市からも待機園児は無いと報告を受けている。出産直後の母親に対する支援も充実させている。</p> <p>高校を卒業するまで医療費の無料を今年の6月から実施している。これらのことで十分とは言えないかも知れないが、少しずつ拡充させている。</p>	
意見	<p>新しい久世保育園は公立でやるべきだと思うが。</p>	<p>久世地域の保育の在り方を改善するために2年前に子ども子育て会議を設置し検討してきた。</p> <p>会議の答申は久世第一と第二は老朽化が激しいので早急に立て直す。民間保育園を導入し保育の多様性を保障するべきと言うものだった。その答申に基づいて民間の事業者をプロポーザル方式で公募した。久世保育園の保護者にもアンケート調査を実施し、子ども子育て会議で協議した。民間で多様性のある保育を保障して欲しいという意見が会議でもあった。市は提出された保育計画や経営計画を厳正に審査し、民間事業者を選定した。</p>	
意見	<p>地域の活力をどう出していけるか？ 市民が生き生きと暮らしていくには地域の活力が必要であるから、議会でしっかりと協議しながら進めて欲しい。</p>	<p>市内では中和地域に元気がある。移住者が増えて小学校の児童数の半数以上が移住してきた家庭の児童である。</p> <p>地域のリーダーが本気になって移住定住や活性化に取り組んでいる。地域で度々住民が集まって意見交換</p>	

		をしている。住民がお互いに声を掛け合って危機感を共有し取り組んでいる。～して欲しいばかりでは市も議会も応援しにくい。～するから手伝って欲しい、応援して欲しいと言うことであれば様々な施策があるし我々も手を出しやすい。	
意見	市民の意見をどう反映しているか？	市民の意見を市政に届けるのが議員の最大の仕事であると思っている。自身が気づけなかったことなどは担当課へ確認し、一般質問で市長に直接見解を質している。	
意見	火葬場の灰の処分について 他県に全部持って行くのはおかしい。金歯銀歯の取り扱いはどうか。民間に処分を丸投げするのはおかしい。 受け入れ先が断ったときのことを考慮しているのか。市が市内で処分を考えるべきだ。	一般質問で同様の質問が同僚議員からあった。市長答弁では新たな処分施設を市内に建設することは費用対効果で全く採算が合わない。市内で処分することは考えていないという事であった。	
意見	市内の高校の再編について	真庭高校は120人の定員に75人が在籍している。80人を2年連続で割り込むと統廃合の対象になると県教委は言っている。議会も真庭高校の白梅寮の建て替えの要望書を県教委に既に提出済みである。しかし県教委は対応してくれない。なかなか効果が出ていないが市内中学校の生徒に選んで貰えるような事をしている。	
意見	市内小学校の再編のトリガーの解除の条件は何か	かつては適正化配置計画があったが今は動いていない。 トリガーが何かは今のところ分からない。ただ少子化がどんどん進む中で、このままで良いのかどうかを議論するときは必ず来ると考えている。	
意見	グリーンブル蒜山の維持管理費は赤字では無いのか？市長はあの事業は失敗であると言っていたが。	赤字にはなっていない。蒜山地域に新しい価値を創造することにより新たな層の入り込み客を増やすことを目標としていると聞いている。実際にこれまでとは異なる地域からの来客や若い年齢層の来客が生まれており、相乗効果が生まれていると考えている。そういった来客の市内回遊性を高め、市内にお金を落として貰えるようにしている。	

意見	小・中学生の学力に低さはどうか ならないか	ペーパーで計れる能力を狭い意味での学力と言うことだと思うが、国の学力テストを小学 6 年生と中学 3 年生で実施している。自治体毎に平均点が公表されている。中学の数学に国や県平均とは明確な差がある。市教委は指導力の向上と言うことで教員の研修会を実施し、様々な取り組みをしている。小学校では OB 等に依頼して理科や英語などの専科の講師を増やしている。中学校は放課後に教員 OB 等に依頼して放課後教室などもしている。	
意見	地域自主組織の会長をしているが後継者がいない。	明確な答えや処方箋は無いが何とか時間を掛けて後継者を見つけて欲しい。	

令和 5 年 11 月 28 日

真庭市議会議長 小田 康文 様

令和 5 年度 真庭市議会市民と語る会実施報告書

報告者（班長） 伊賀基之

開催日	令和 5 年 11 月 12 日（日） 13:00 ~ 15:00		
開催学区名	月田小学校		
会場名	月田公民館		
出席議員	班 長 : 伊賀基之 副班長 : 中尾哲雄 班 員 : 妹島弘和 森脇正和 小田康文		
参加人数	24 人（うち議員 6 人）		
発言の種類	発言の内容	対応の内容	備考
意見	ハザードマップの見直しで自宅の庭が土砂災害特別警戒区域に指定され、同居する家族のための家屋の建設が出来ない。指定の際に用いた地図の縮尺を変えれば範囲外になると思うがどうすれば良いか？	土砂災害特別警戒区域の指定は人命の保全を最も尊重した結果である。法を超えて市が何か対応することは困難である。用いた地図の縮尺が問題なのであれば県に問い合わせをしてみたい。	
要望	チョイソコの停留所設置について、要望に応じて欲しい。	原則各自治会に 1 か所設置している。ゴミステーションが多い。地域の実情に合わせてドンドン意見を出して貰い変えていけば良い。	
意見	猪や猿が出て困っている。	市では害獣対策に 1 億円以上掛けて対策をしている。複合柵などの設置補助制度がある。地区全体と言うことであれば捕獲檻の設置なども対応している。まずは振興局を通じて相談して欲しい。	
意見	独居高齢のため近所周辺の草刈りができない。	市道であれば自治会単位で申し込むと草刈りの補助制度がある。その他の箇所は建設課が対応してくれるので相談して欲しい。それなりの回答が貰えると思う。	
要望	広報紙を毎月月末までに自治会長のところへ届けて欲しい	基本的に広報紙は月末までに自治会長のところへ届くようになっている。もし月田地区がそうでないなら勝山振興局か総務部を通じて調査をし、是正するように伝える。	勝山振興局に連絡
意見	一般質問を年に何度か傍聴する。市長答弁が議員を宥めているのか馬鹿にしているのか分からないが、そういう状況が見受けられて悲しくなる。もっと研鑽をして市民のために頑張ってもらいたい	市長が時々議員を見下したような物言いをするときがある。全議員が決してそんなことを言われぬような質問をして欲しいと考えているし、市長にもっと真剣に答弁して欲しいとその場で議員が言うべきである。今回の励ましを全議員にシェアしたいと思う。	

意見	<p>議員定数について 人口比で多いのではないか。また定数減に伴うメリット、デメリットは何か。 若い人が議員に立候補するために必要な取り組みは何か？</p>	<p>定数が多いか少ないかは各議員の働きによると思う。定数を減じた場合のデメリットは面積が 828 km²もあるなかでどのようにして市民の意見を収集して市政に反映するかである。SNS を始めてみても中々見て貰えない。議員定数に正解はない。人口規模が同程度の議会を参考に議員 1 人当たり人口 2,000 人位が平均的であると判断した。メリットは議員人件費の削減と議員の真剣さが増してくるのではないか。烏合の衆ではなくて仕事の出来る議員の集団でありたい。 若い人が立候補しないのは議員としての仕事のやりがいを伝えられていないと思う。また議員年金も廃止され、社会保障は国民年金と国保だけなので、現在の仕事を辞めてまで立候補するよりも今の生活をする方が良いと思われるのだと思う。</p>	
要望	<p>現在月田地域から選出された議員はいない。今回のような互いに顔の見える意見交換会を毎年実施して欲しい。</p>	<p>月田で大きな行事があれば、勝山振興局を通さずに全議員に案内を出せば多くの議員が来ると思う。</p>	
意見	<p>市から子育て支援のアンケート用紙が世帯主に届いたがQRコードを用いたもので、高齢の世帯主には対応できなかった。対象によってはかえって回答率が低くなるのではないか。</p>	<p>子育て支援課が高校生以下の子どもの居る世帯を対象に実施した。子育て中の若い世帯をメインの対象としたアンケートだった。今後若い方を対象としたアンケートは QR になるが、高齢の方を対象にしたものはこれまで通りペーパーでの実施になると思う。</p>	<p>総合政策課へ伝える</p>
要望	<p>現在の農業を取り巻く環境は非常に厳しいものがある。耕作放棄地がとて増えてくると言う心配がある。助成金か何かで助けて貰えないか。</p>	<p>農業は儲からないから若い人が参入しない。日本全体の農業の問題としてほとんどの農家は作ることは熱心だけれども売ることは農協などに頼っているから自分で価格を決められない。だから再生産性の無い価格でしか売ることが出来ていない。そこを変えなければどうしようもないが、行政が取り組む事項かと言われればそうではないと思う。補助金についてはスマート農機であれば現在も国の補助事業がある。それ以外は営農組合とか認定農業者が対象の 3 割補助がある。個人対象にはない。耕作放棄地については農地中間管理機構を通じて貸し借りの仲介を実施している。現在すでに耕作放棄地になっているところに助成をすることは考えられていない。</p>	
意見	<p>まにコインを実施するメリットは何か</p>	<p>市にとっては市内経済の循環が一番のメリットである。市外になるべくお金が出ていかないようにする取り組みである。また市に対する納付であれば、市が取扱金融機関に対する年間数百万円に及ぶ</p>	

		手数料を減らすことが出来る。ユーザーにとっては年に何度かあるキャンペーンでポイントバックがあるし、市内間取引であれば送金手数料がかからない。	
意見	地域おこし協力隊委員の選考方法はどのようになっているか。	地域おこし協力隊は総務省の事業である。自治体毎に人員数と、どこで何をして貰うかを決めて募集する。月田地域に木材の利活用に特化したような人員の派遣を求めるのであれば、地域の要望として交流定住推進課に伝えて欲しい。	
意見	愛育委員、栄養委員、福祉委員、民生児童委員、保護司、婦人会、老人クラブは少子化、人口減少なのに現状通りに必要か。	活動内容が重複する場合は整理が必要であると思う。民生児童委員と保護司は法令で設置が定められている。同じ方がずっと継続して就任して頂いて、それが負担なのであれば改善が必要であると思う。何もかも無くすことが良いとは思わない。皆で集まってワイワイガヤガヤする事で地域の活気が維持されると思う。福祉委員がどのような活動をしているのか調査をし、報告することを約束する。	福祉委員は社会福祉協議会の制度である。社協の意見 福祉委員の役割…日常的な見守り、助け合い活動、民生委員への連絡、地区社協の活動に参加など 少人数の自治会では選出が困難ということも理解するが、高齢化の進む中で必要な委員と考える
意見	コロナがあけて地域の動きが復活してきたが、小学校の先生がコロナの最中に全員入れ替わってしまい行事ごとの引き継ぎが何も出来ていない。	教員は全員県の公務員であり、人事配置は全て県教委が実施する。前任の教員が余りにも無責任であると思う。市内の全ての小・中学校は全てコミュニティスクールであり、地域の子ども達は地域の方と共に育てると言う方針に逆行している。教育委員会に改善を強く言っていきたい。	教育委員会へ連絡する
意見	小学校や保育園の存続が危ぶまれるが。	昨年度の出生者数は 202 人である。今年はそのよりも減少する見込みである。現在は学校の再編整備の話は出ていないがいずれは出てくると思う。	
意見	将来の小学校の統廃合がスタートするきっかけは何か。	特にいつからと言う話は現状何も聞いていないし、何がきっかけになるのかは不明である。しかしこのまま児童数が減少すれば、いつか統廃合の話は出てくると思う。その時に保護者の皆さんが判断すれば良い。統合した方が良いというのであれば PTA 総会などで決議をし、市教委に伝えるのが良いと思う。	

意見	仮に月田小学校が他所へ統合を希望した場合、実際にはどれくらいの期間が必要か。	月田小学校には複式学級がある。複式学級を解消するためには最低 2 年間は必要である。現在 2 学年を一つの教室で 1 人の教員が授業をしているが、これを分けて、市教委が教員を加配して 1 学年に 1 人ずつ配置する。	
意見	統合した後の放課後児童クラブの在り方はどうなるか。ここで地域のことを学ぶ事をサポートして欲しい。	放課後児童クラブの設置場所は厚労省により法令で学校内か近隣地域に設置することを定められている。もし月田小学校が勝山小学校と統合したら月田小学校にある放課後児童クラブは廃止となる。	

令和 5 年 1 1 月 2 4 日

真庭市議会議長 小田 康文 様

令和 5 年度 真庭市議会市民と語る会実施報告書

報告者（班長） 伊賀 基之 ㊞

開 催 日 時	令和 5 年 1 1 月 1 2 日（日）午後 6 : 0 0 ~ 8 : 0 0		
開 催 学 区 名	湯原小学校		
会 場 名	二川みらいづくりセンター		
出 席 議 員	班 長..... : 伊賀基之..... 副班長..... : 中尾哲雄..... 班 員 : 妹島弘和 森脇正和		
参 加 人 数	1 8 人（うち議員 4 人）		
発 言 の 種 類	発 言 の 内 容	会 場 で の 対 応	備 考
要望	二川地内の県道、市道の改良を望む	市道については道路改良基準がある。査定基準が低いと難しい。県道については、要望書を出して欲しい。	
要望、意見	定数削減が必要	議員で協議して 2 4 人から 2 2 人に削減。人口当たり約 2 0 0 0 人で決めている。これでいいとは、思っていない。	
要望	県道の降水量による通行止めについて基準は	県の基準がある。安全上のことがあるので仕方ない。	県に確認 藤森・種とも 時間雨量 30 ミリ以上、 連続 100 ミ リ以上
意見	小学校の改善について統合は失敗だった。声をあげれば統合はなかったのでは	小学校の再配置計画は現在は停止している。現在の小規模校は、中和地区の山村留学など、それぞれの地域で存続のため頑張っている。	
要望	二川みらいづくりセンターの外に街灯の設置を望む	会場にセンター長が同席していたので即、対応していただくことになった。	
要望	人口減少している地域も見捨てることなくして欲しい	少子化は、仕方ない。国の施策の失敗。市は、見捨てることはない	
意見	耕作放棄地について 市は減らす取り組みを	市も農家に支援をしている。地域全体で農地を管理しているところもある。	
要望	空き家の対策は	空き家は、個人の所有物。壊れた部分が市道にでた場合は、市が撤去できる。	
要望	米子道のバス停の階段を何とかして欲しい。	NEXCO の管轄。市では無理。今後、調査必要。	